

## 《教育関係について》

### ◎ 教育委員会事業

#### (1) 定例会・臨時会開催日数

総務課

事業概要	定例会は原則、毎月第2火曜日に開催することと規則で定めており、付議事件を告示して招集し、教育委員会の権限に属する全てを審議する。 臨時会は、随時付議事件を告示して招集し、告示された事件について審議する（急施を要するものを除く）。													
	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
傍聴人数	定例会	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人						
	臨時会	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0人	0人	0人
臨時会の回数		0回	0回	0回	0回	1回	1回	2回						

#### (2) 付議事件関係

総務課

区分	教 育 長 提 出					年 間 延 べ 数
	条 例 改 正 案 等	規 則 令 ・ 等	予 算 案	人 事	そ の 他	
定 例 会	1件	4件	7件	6件	10件	28件
臨 時 会	0件	0件	0件	4件	1件	5件
合 計	1件	4件	7件	10件	11件	33件

※ 「その他」には、教育委員会の方針決定等を含む。

#### (3) 付議事件の結果関係

総務課

区分	教 育 長 提 出				年 間 延 べ 数
	原 案 可 決	修 正 可 決	否 決	そ の 他	
定 例 会	28件	0件	0件	0件	28件
臨 時 会	5件	0件	0件	0件	5件
合 計	33件	0件	0件	0件	33件

※ 「原案可決」には、承認・認定・同意を含む。

## (4) 教育委員会視察活動

総務課

事業目的	視察回数	視察会場	視察目的	事業成果
教育委員会定例会議を市内小・中学校や社会教育施設で開催し、現場の視察や施設長から運営状況等を聞くことで、現状把握のための情報収集等を行うことができる。	2回	権現堂川小学校 (6月15日)	学校現場における感染対策や様々な取組、タブレット端末を活用した学習活動について	机上の報告書だけではなく、教育活動現場を視察し、生の声を聞くことで、教育施設を取り巻く環境やさまざまな活動を確認し、活発な意見交換を行うことができた。
		行幸小学校 (12月14日)	特別支援学級の学習状況について	

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、視察を自粛したことによる回数の減。

## (5) 定例会協議事項

総務課

事業目的	協議事項議題	定例会開催日
教育に係る諸課題・諸問題等について、調査・研究を行い、テーマを定めて協議を行うとともに、先進地事例から学ぶことで教育の質の更なる向上を図る。	生徒指導上の今年度（令和2年度）の成果と次年度（令和3年度）の課題	令和3年5月19日
	コロナ禍における学校経営の現状	令和3年6月15日
	GIGAスクール構想の現状	令和3年7月13日
	通学路の安全対策の取組	令和3年8月17日
	学校の適正規模の基準	令和3年9月21日
	令和3年度幸手市教育行政重点施策（上半期）進捗状況について	令和3年10月12日
	特別支援学級の現状と課題	令和3年12月14日
	吉田幼稚園のこれまでの歩みと現状	令和4年1月18日
	幸手市教育審議会への諮問案	令和4年2月8日

## ◎ 総合教育会議

総務課

事業概要	総合教育会議は、市長と教育委員会とが相互の連携を図り、重点的な施策等についての協議を行う。		
開催月、協議・調整事項及び傍聴人数	開催月	協議・調整事項	傍聴人数
		11月	幸手市の教育行政の諸課題

◎ 児童生徒健全育成事業

学校教育課

事業目的	事業概要	事業成果
いじめ、不登校、非行、問題行動等の生徒指導の諸課題を協議し、健全育成に資する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>幸手市教育相談連絡会</li> <li>学校ごとに年3回以上の実施参加者</li> <li>校長、教頭、生徒指導主任、教育相談主任、指導主事、スクールソーシャルワーカー等</li> </ul>	生徒指導上の諸課題について認識を深めるとともに、児童生徒の健全育成に寄与した。

◎ 幸手市いじめ問題対策連絡協議会

学校教育課

事業目的	事業概要	事業成果
いじめ防止対策推進法（平成25年法律第71号）第14条第1項の規定に基づき、幸手市いじめ問題対策連絡協議会を置く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>11月1日（月）～15日（月）幸手市いじめ防止強化期間</li> <li>幸手市いじめ問題対策連絡協議会を2回実施。</li> <li>「学校生活アンケート」の結果について (事業費 68,000円)</li> </ul>	<p>幸手市いじめ防止強化期間を市民に周知するため、横断幕を掲示した。</p> <p>市内小・中学校の全児童生徒にいじめ防止のための標語を作成してもらい、最優秀賞、優秀賞を決め、表彰した。</p>

◎ 学力向上推進事業

学校教育課

事業目的	事業概要	事業成果
学力調査を通して、児童生徒の課題や学習内容の定着状況を把握し、課題に応じた施策を通して学力の向上を図る。	<p>児童生徒の学力課題を把握するために市内一斉の学力調査を実施する。（小1～中2）</p> <p>小1～小6 国語、算数 中1～中2 国語、数学、英語、理科、社会 (事業費 2,888,380円)</p>	令和3年度の幸手市統一学力調査から、中学生の受検科目数を3教科から5教科としており、学習内容の定着状況を把握し、学力の向上が図れた。また、指導方法の工夫改善が図れた。

◎ 教育支援員等の配置

学校教育課

事業名	事業目的	配置場所数	事業成果
教育支援員配置事業	障害のある児童生徒及び学習に課題のある児童生徒の在籍する学級を有する学校において、児童生徒の生命の安全を確保するとともに、生活指導、学習指導の充実を図る。	小学校 9校 19人 中学校 3校 8人  (事業費47,637,443円)	各学校における生活指導及び学習指導の充実を図ることができた。また、特別支援学級への配置により、個に応じた合理的配慮を充実させることができた。
さわやか相談員配置事業	いじめ、不登校等について、児童生徒及びその保護者からの相談に応じるとともに、学校、家庭及び地域社会と連携し、健全な児童生徒の育成を図る。	中学校 3校 3人  (事業費 6,814,920円)	いじめ、不登校等について、児童生徒及びその保護者からの相談に応じ、さらに学校、家庭及び地域社会と連携し、健全な児童生徒の育成が図れた。
教育相談員・心すこやか支援員配置事業	いじめ、不登校等について、児童生徒及びその保護者からの相談に応じるとともに、不登校児童生徒が学校復帰を目指すための学習・生活面の支援を行い、教育相談体制の充実を図る。	心すこやか支援室 (旧シルバー人材センター内) 教育相談員 1人 心すこやか支援員 4人  (事業費 6,975,101円)	いじめ、不登校等について、児童生徒及びその保護者からの相談に応じ、不登校児童生徒が学校復帰を目指すための適応指導を施し、教育相談体制の充実が図れた。
日本語指導員配置事業	市内小・中学校の児童生徒のうち、外国語を母語とする児童生徒の学習指導等に対応するため、日本語指導員を配置し学力の向上を図る。	市内小・中学校 3人  (事業費 1,005,720円)	外国語を母語とする児童生徒の学習指導・生活指導等に担任や教科担任と連携して「個に応じた支援」を行い、学習の充実が図れた。
ふれあい相談員配置事業	市内小・中学校におけるいじめや不登校の児童生徒及び保護者との相談に応じるとともに、学校、家庭、地域との連携を図るため、ふれあい相談員を配置し、健全な児童生徒の育成を図る。	市内中学校区 3人  (事業費 2,308,684円)	幸手市さわやか相談員と連携し、児童生徒との相談・援助を行うことで、不登校傾向のある児童生徒の心の安定や学習の充実が図れた。

◎ 道徳教育推進事業

学校教育課

事業目的	事業概要	事業成果
<p>児童生徒の豊かな心をはぐくむため、道徳教育に係る外部講師を招き、教員の指導力向上を図るとともに、幸手市郷土資料「道徳のまち さって」「道徳のまち さって ハンドブック」を活用し、道徳教育の推進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳教育推進協議会議を2回開催</li> <li>・ありがとう作文コンクールを小・中学校で実施</li> </ul> <p>(事業費 1,282,886円)</p>	<p>道徳教育の成果を一層高めるため、「幸手市道徳教育推進協議会議」を設置し、学校、家庭、地域が連携し、取組を展開した。</p> <p>ありがとう作文の作成において、児童生徒は身近な人や、体験したことをもとに感謝の気持ちを文面に込めた。各校から素晴らしい作品が集まり、最優秀賞、優秀賞を選出し、表彰した。市役所、幸手駅自由通路、公民館にて作品展示した。</p>

◎ 外国青年招致事業

学校教育課

事業目的	事業概要	事業成果
<p>市内中学校の英語指導及び小・中学校の外国語活動の充実を図るため、語学指導助手(ALT)として外国青年を招致する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国青年招致 4月～9月 4人 10月～3月 3人</li> <li>・市内中学校の英語指導</li> <li>・国際理解教育の推進</li> <li>・市内小学校の外国語活動の指導</li> </ul> <p>(事業費 34,239,767円)</p>	<p>児童生徒が英語の授業に対して主体的に、楽しく取り組み、コミュニケーション活動が更に充実し、英語学習への動機づけを図ることができた。小学校における外国語活動の充実を図ることができた。</p>

◎ さってアフタースクール事業

学校教育課

事業目的	事業概要	事業成果
<p>児童の学力向上、学習の習慣化のため、放課後の教室を利用して、地域の教員OBなどが国語・算数を中心に、授業の復習や宿題の支援等、児童へ学習支援を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者 市内9校の小学校3～6年生</li> <li>・開催回数 419回</li> <li>・参加人数 339名</li> <li>・講師 32名</li> </ul> <p>(事業費 11,687,711円)</p>	<p>アフタースクールを実施することで、学習習慣の定着を図る一助になった。個に応じたきめ細かい指導を実施することで、多くの児童に達成感や学ぶ楽しさを味わわせることができた。</p>

◎ 体力向上推進事業

学校教育課

事業目的	事業概要	事業成果
<p>市内小・中学校に体力向上に関する研究を委嘱したり、ロードレース大会を開催するなど、児童・生徒の体力の向上を推進する。</p>	<p>研究委嘱関係 さくら小学校 吉田小学校 西中学校</p> <p>委員会関係 体力向上推進委員会 3回</p> <p>大会関係 小学校ロードレース大会</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、記録会形式で実施。 (事業費 36,775円)</p>	<p>体育授業におけるICT活用事例など委嘱校の実践をもとに市内で共有することができた。記録会形式で小学校ロードレース大会を実施し、児童の意欲を高めることができた。さらに、新体力テストの分析を通して体力の現状を把握し、次年度の課題を明確にすることができた。</p>

◎ 学校給食調理業務委託事業

総務課

事業目的	委託校	事業概要	事業成果
学校給食調理業務を効果的・効率的に運営し、安心・安全な給食を提供する。	全小・中学校 (小学校9校) (中学校3校)	学校給食(自校調理方式)における調理業務を民間業者に委託する。 (事業費213,671,700円)	民間委託を推進することで、効果的・効率的に給食調理業務を運営することができた。

◎ 給食室トイレ改修事業

総務課

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業)

事業目的	新型コロナウイルス感染症対策として、給食調理員が使用するトイレを洋式化するとともに、トイレの床を乾式化することで、衛生的なトイレ環境の整備を図り、安全な学校給食を提供することを目的とする。		
事業概要	給食室の和式トイレを洋式化するとともに、床を乾式化する。		
事業費	幸手小学校給食室トイレ改修 上高野小学校給食室トイレ改修 吉田小学校給食室トイレ改修 八代小学校給食室トイレ改修 行幸小学校給食室トイレ改修 長倉小学校給食室トイレ改修 さかえ小学校給食室トイレ改修 さくら小学校給食室トイレ改修 幸手中学校給食室トイレ改修 東中学校給食室トイレ改修	工事請負費 工事請負費 工事請負費 工事請負費 工事請負費 工事請負費 工事請負費 工事請負費 工事請負費 工事請負費	607,970円 473,000円 693,000円 675,180円 675,180円 689,480円 627,770円 650,650円 675,180円 473,000円
事業成果	給食室のトイレの洋式化と床の乾式化を行い、安全な学校給食の提供が図れた。		

◎ 学校給食関係事業

総務課

事業目的	学校給食の安全向上のため、学校栄養士及び食品の細菌検査等を実施する。		
検査名等	対象	事業概要	事業成果
検便検査	学校栄養士等 13人	サルモネラ菌・病原性大腸菌 O-157検査 (月2回) (事業費88,374円)	検査、講習会を通して、学校給食食材の安全及び衛生管理の徹底を図れた。
給食食品検査	給食食材 30検体	給食食材の検査(サルモネラ菌・病原性大腸菌O-157検査) (事業費135,300円)	

◎ 小・中学校プール水水質検査

総務課

事業目的	事業概要	事業成果
学校プールは、一時に多くの児童生徒等が利用することから、水を介した感染症を予防するための衛生的な管理を行う。	プール期間中に、プール水の水質検査（トリハロメタン等）を実施する。	新型コロナウイルス感染拡大防止によるプール授業中止に伴い、実施しなかった。

◎ 保健・健康事業

総務課

事業目的	学校保健安全法に基づき、児童、生徒及び教職員の健康管理のため、各種検診を実施する。		
検診名	検診対象者	事業概要	事業成果
心臓検診	小学校 1・4年生 中学校 1年生	心電図、医師の問診等による検診 (事業費 2,378,200円)	受診者数 1,081人 受診率 99.5%
尿検査	小・中学校 全児童・生徒	検尿による尿糖、タンパク等の検査 (事業費 789,888円)	受診者数 3,264人 受診率 99.2%
小児生活習慣病 予防健診	小学校 4年生	採血、血圧、医師の問診等による検査 (事業費 1,096,480円)	受診者数 356人 受診率 99.7%
脊柱側彎症 <sup>わん</sup> 検診	中学校 1年生	モアレットポグラフィ法による検査 (事業費 285,670円)	受診者数 371人 受診率 98.2%
結核検診	児童・生徒 (要精密検査 受診者) 教職員	児童・生徒 胸部X線撮影による精密検査 教職員 胸部X線撮影 (事業費 275,110円)	児童・生徒 9人 教職員 136人
健康診断 胃がん検診 大腸がん検診	教職員	健康診断・胃部X線撮影・便潜血反応検査 (事業費 1,359,055円)	健診受診者数 129人 胃がん受診者数 20人 大腸がん受診者数 20人

◎ 学校給食費補助金（指定補助）

総務課

事業目的	多子世帯の学校給食費を援助することで保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援の推進を図る。					
区分	第2子	金額	第3子以降	金額	合計	金額
市内小学生	667人	15,217,248円	90人	4,132,916円	757人	19,350,164円
市内中学生	53人	1,343,483円	0人	0円	53人	1,343,483円
特別支援学校 (小・中学生)	4人	70,380円	0人	0円	4人	70,380円
合計	724人	16,631,111円	90人	4,132,916円	814人	20,764,027円
事業成果	保護者の経済的負担を軽減し子育て支援の推進が図れた。					

◎ 分散登校時給食食材費用補償事業

総務課

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業)

事業目的	事業費	事業成果
分散登校により発生した学校給食食材キャンセル等にかかる費用を負担する。	小学校 2校 71,703円 中学校 1校 13,156円	分散登校により発生した学校給食食材キャンセル等にかかる費用を保護者に請求せずに対応することができた。

◎ 次亜塩素酸水生成器等購入事業

総務課

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業)

事業目的	事業費	事業成果
新型コロナウイルス感染症対策のため、消毒用次亜塩素酸水を生成する機器を購入し、学校内の衛生向上を図る。	消耗品 ・次亜塩素酸水生成器 専用添加液 316,800円 機械器具費 ・次亜塩素酸水生成器12台 3,762,000円	児童・生徒及び教職員の感染症対策等に必要な機器を購入し、安心・安全な環境整備をすることで、集団感染のリスクを避け安心して学ぶことができた。

◎ 小・中学校オンライン学習推進事業

総務課

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業)

事業目的	新型コロナウイルス感染症の感染対策等を徹底しながら、児童・生徒の学習を保障するために必要な設備等を整備する。
事業概要	新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、1学級を複数の教室に分散して学習活動を行うに当たり、無線LANなどのネットワークが未整備の教室でタブレット端末が活用できるようにネットワークを整備する。
事業費	幸手小学校LAN配線工事一式 169,400円 行幸小学校LAN配線工事一式 136,400円 長倉小学校LAN配線工事一式 264,550円 西中学校LAN配線工事一式 245,520円
事業成果	感染対策等を徹底しながら、児童・生徒の学習を保障することができた。

◎ 就学援助及び特別支援教育就学奨励事業

学校教育課

(1) 就学援助事業

事業目的	認定数	支給者及び援助額	事業成果
経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、義務教育の円滑な実施を図るために必要な援助を行う。	児童生徒 599人 就学予定児童38人	学用品費等 599人 23,356,800円 学校給食費 596人 27,985,762円	保護者の義務教育に係る費用の経済的な負担を軽減することにより、対象児童生徒に円滑な義務教育が実施できた。

(2) 特別支援教育就学奨励事業

事業目的	認定数	援助額	事業成果
特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者に対して経済的負担を軽減するために、特別支援学級への就学のための必要な経費の一部を援助する。	44人	1,714,307円	特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及奨励が図れた。

◎ 入学準備金貸付事業

学校教育課

事業目的	貸付者数及び貸付金額	事業成果
高等学校、大学及び専修学校への入学を希望する者の保護者で、入学準備金の調達が困難な者に対して、教育を受ける機会を与えることを目的として、貸付事業を行う。	大 学 4人 専修学校 1人 2,500,000円	保護者の経済的な負担を軽減すると共に、高等学校、大学に入学を希望する者に対し、教育を受ける機会を与えることができた。

◎ 感染症対策等の学校教育活動継続支援事業

総務課

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業)

事業目的	事業費	事業成果																										
各学校が感染症対策等を徹底しながら、夏季休業期間の短縮等により研修機会を逸した教職員に対し研修に必要な経費を支援する取組及び児童生徒の学習保障をするための取組を実施するに当たり、校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の円滑な運営を支援する経費を補助する。	<table border="0"> <tr> <td>○学校名</td> <td>○執行額</td> </tr> <tr> <td>幸手小学校</td> <td>916,815円</td> </tr> <tr> <td>権現堂川小学校</td> <td>909,461円</td> </tr> <tr> <td>上高野小学校</td> <td>1,421,890円</td> </tr> <tr> <td>吉田小学校</td> <td>914,725円</td> </tr> <tr> <td>八代小学校</td> <td>917,719円</td> </tr> <tr> <td>行幸小学校</td> <td>1,355,256円</td> </tr> <tr> <td>長倉小学校</td> <td>1,812,155円</td> </tr> <tr> <td>さかえ小学校</td> <td>921,010円</td> </tr> <tr> <td>さくら小学校</td> <td>1,352,234円</td> </tr> <tr> <td>幸手中学校</td> <td>1,375,660円</td> </tr> <tr> <td>東中学校</td> <td>926,420円</td> </tr> <tr> <td>西中学校</td> <td>1,832,590円</td> </tr> </table>	○学校名	○執行額	幸手小学校	916,815円	権現堂川小学校	909,461円	上高野小学校	1,421,890円	吉田小学校	914,725円	八代小学校	917,719円	行幸小学校	1,355,256円	長倉小学校	1,812,155円	さかえ小学校	921,010円	さくら小学校	1,352,234円	幸手中学校	1,375,660円	東中学校	926,420円	西中学校	1,832,590円	学校の教育活動継続に際して、密閉・密集・密接を回避し、児童生徒・教職員等の感染症対策に必要な物品の購入等に係る経費を支援するとともに、児童生徒の学びの保障のため、感染の状況や児童生徒の状況に応じた学校での教育活動や家庭学習を実施する際に生じる経費を支援したことで、安心・安全な環境を整備するとともに、児童・生徒の学習を保障することができた。
○学校名	○執行額																											
幸手小学校	916,815円																											
権現堂川小学校	909,461円																											
上高野小学校	1,421,890円																											
吉田小学校	914,725円																											
八代小学校	917,719円																											
行幸小学校	1,355,256円																											
長倉小学校	1,812,155円																											
さかえ小学校	921,010円																											
さくら小学校	1,352,234円																											
幸手中学校	1,375,660円																											
東中学校	926,420円																											
西中学校	1,832,590円																											

◎ 受変電設備更新事業

総務課

事業目的	老朽化が進む受変電設備の更新を行い、安定的な電力の受電を図る。															
事業概要	小学校の受変電設備で使用するコンデンサやP A S等を更新する。															
事業費	<table border="0"> <tr> <td>権現堂川小学校コンデンサ更新</td> <td>工事請負費</td> <td>407,000円</td> </tr> <tr> <td>吉田小学校コンデンサ更新</td> <td>工事請負費</td> <td>407,000円</td> </tr> <tr> <td>八代小学校コンデンサ更新</td> <td>工事請負費</td> <td>436,700円</td> </tr> <tr> <td>吉田小学校P A S更新</td> <td>工事請負費</td> <td>814,000円</td> </tr> <tr> <td>八代小学校油遮断器更新</td> <td>工事請負費</td> <td>660,000円</td> </tr> </table>	権現堂川小学校コンデンサ更新	工事請負費	407,000円	吉田小学校コンデンサ更新	工事請負費	407,000円	八代小学校コンデンサ更新	工事請負費	436,700円	吉田小学校P A S更新	工事請負費	814,000円	八代小学校油遮断器更新	工事請負費	660,000円
権現堂川小学校コンデンサ更新	工事請負費	407,000円														
吉田小学校コンデンサ更新	工事請負費	407,000円														
八代小学校コンデンサ更新	工事請負費	436,700円														
吉田小学校P A S更新	工事請負費	814,000円														
八代小学校油遮断器更新	工事請負費	660,000円														
事業成果	受変電設備の更新を行い、安定的な電力の受電が図れた。															

◎ 学校施設三密回避対応事業

総務課

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業)

事業目的	新型コロナウイルス感染症の感染対策等を徹底しながら、児童・生徒の学習を保障するために衛生的な教育環境を整備する。									
事業概要	学校施設内において三密状態となる機会を減らすために必要となる機械設備や建具等を改修・設置する。									
事業費	<table border="0"> <tr> <td>換気扇交換工事</td> <td>9校</td> <td>1,292,500円</td> </tr> <tr> <td>網戸設置等建具関連工事</td> <td>2校</td> <td>399,267円</td> </tr> <tr> <td>放送設備更新工事</td> <td>2校</td> <td>1,896,400円</td> </tr> </table>	換気扇交換工事	9校	1,292,500円	網戸設置等建具関連工事	2校	399,267円	放送設備更新工事	2校	1,896,400円
換気扇交換工事	9校	1,292,500円								
網戸設置等建具関連工事	2校	399,267円								
放送設備更新工事	2校	1,896,400円								
事業成果	感染対策等を徹底しながら、児童・生徒の学習を保障することができた。									

◎ G I G Aスクールネットワーク回線運用事業

総務課

事業目的	事業費	事業成果
児童・生徒が活用するタブレット端末などの教育ICT機器がインターネットにスムーズに接続できるよう必要な通信ネットワークを運用する。	通信運搬費 ○光回線初期導入費 小学校 9校 1,415,700円 中学校 3校 471,900円 ○光回線使用料 小学校 9校 1,045,400円 中学校 3校 348,480円	児童・生徒が活用するタブレット端末などの教育ICT機器がインターネットにスムーズに接続され、必要な学習を行うことができた。

◎ 吉田幼稚園学級・園児数（令和3年5月1日現在）

学校教育課

学 級 数				園 児 数			
年少	年中	年長	合計	年少	年中	年長	合計
		1学級	1学級			11人	11人

◎ 私立幼稚園関係補助事業（指定補助）

こども支援課

補助金名	事業概要	補助内容	事業成果
私立幼稚園振興補助金	市内の私立幼稚園の振興を期するためにその設置者に対して、予算の範囲内で補助する。	5園 2,700,000円	運営に必要な経費を補助し、施設の充実に寄与した。

◎ 人材バンク（さって市民生きがい教授）設置事業

社会教育課

事業目的	生涯学習の機会を広げるために、様々な分野の指導者の登録を行い、誰もが活用できるよう情報提供を行う。
登録者数	52人
事業成果	指導者に関する詳しい情報をホームページ等で公開することで、学習機会を求める市民に対して情報を入手しやすい環境を整備することができた。

◎ 家庭教育学級開設事業

社会教育課

事業目的	保護者が自信をもって子育てをするために、相互の交流親睦を深め、仲間づくりを行いながら様々な学習に取り組む場を設ける。					
期間	令和3年4月～令和4年2月					
運営主体	各家庭教育学級が自主的に実施					
開設団体数	6団体 委託料合計：102,041円 ※1団体あたりの委託料限度額は27,000円					
説明会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。					
事業内容	No.	学級開設団体名	対象	回数	延べ参加者数	学習領域
	1	幸手小学校 P T A	会員	1回	17人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの生活習慣に関すること</li> <li>・子育てに関すること</li> <li>・教育に関すること</li> <li>・社会環境に関すること</li> </ul>
	2	上高野小学校 P T A	会員	2回	59人	
	3	行幸小学校 P T A	会員	1回	12人	
	4	権現堂川小学校 P T A	会員	1回	8人	
	5	第二幸手幼稚園 母の会	会員	1回	47人	
	6	幸手さくら幼稚園 母の会	会員	3回	48人	
	合 計					
事業成果	保護者が各学級に参加することで、子育てや教育に関する知識を習得しながら、相互に交流を図り、仲間づくりを進めることができた。					

◎ 社会教育関係団体の概要と補助金（一般補助）

社会教育課

事業目的	青少年育成や文化活動など社会教育に関する団体の活動を支援するために補助金を交付する。			
交付実績	団体名・代表者名	主 な 活 動	会 員 数 等	交 付 額
	幸手市子ども会育成連絡協議会 会長 吉良英敏	さって郷土かるた大会（※） 彩の国21世紀郷土かるた大会（※）	権現堂川地区	0円
	幸手市連合婦人会 会長 森泉美江子	中央学級 各種大会協力（※） ボランティア活動（※）	3地区婦人会 （行幸・上高野・幸手）	173,117円
	幸手市文化団体連合会 会長 中村孝子	文連作品展 広報紙での作品発表 文連だより発行 文連発表会（※）	41団体・6連合 876人 指導部 25人	474,448円
	幸手市PTA連合会 会長 藺田利哉	PTA連合会だより発行 交通安全ポスターコンクール	12単位PTA 小学校 9校 中学校 3校	350,000円
	幸手市人権教育推進協議会 会長 山西実	人権教育研修会	76人	706,000円
	幸手市郷土芸能保存会 会長 吉田清	後継者育成事業（※） 大杉ばやし（※） 郷土芸能大会（※）	2団体（松石・高須賀）	55,000円
	ボーイスカウト幸手団連絡協議会 代表 中村行生	クリスマス会 ハイキング 指導者研修訓練キャンプ	23人	170,000円
	幸手市青少年相談員協議会 代表相談員 長野廣彬	勾玉づくり バスツアー（※） 清水公園事業（※） デイキャンプ（※）	16人	0円
	幸手市公民館クラブ 連絡協議会 会長 小田信博	美化運動 公民館祭 （東日本大震災展） （発表部門）（※） （囲碁大会）（※）	14クラブ 115人	81,000円
事業成果	関係団体に補助金を交付することで、事業運営を支援することができ、社会教育活動の推進が図れた。			

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

◎ 社会教育委員

社会教育課

事業目的	社会教育に関する計画の立案及び教育委員会の諮問に応じるために必要な研究調査等を行う。	
事業内容	期日・会場	内 容
	5月14日（金） 久喜総合文化会館	埼玉葛郡市社会教育振興会総会・研修会 （1）令和2年度事業報告・令和3年度事業計画等について（書面審議） （2）研修会（講演会）（※）
	5月21日（金） 市役所第1会議室	第1回幸手市社会教育委員会議 （1）今年度のテーマに係る調査・研究について （2）その他
	5月26日（水） 国立女性教育会館	埼玉縣市町村社会教育委員連絡協議会総会・研修会 （1）令和2年度事業報告・令和3年度事業計画等について（書面審議） （2）研修会（※）
	6月21日（月） 市役所第1会議室	第2回幸手市社会教育委員会議 （1）今年度のテーマに係る調査・研究について （2）その他
	8月31日（火） 市役所第1会議室	第3回幸手市社会教育委員会議（※）
	11月11日（木） 市役所第1会議室	第4回幸手市社会教育委員会議 （1）委嘱状交付 （2）社会教育委員について （3）議長・副議長の選出について （4）令和2年度事業報告について （5）令和3年度事業計画について （6）令和2・3年度調査・研究のまとめについて
	12月17日（金） 市役所第2会議室	第5回幸手市社会教育委員会議 （1）令和2・3年度の調査・研究のまとめについて （2）今後の活動計画について
	1月20日（木） 蓮田市総合文化会館 （ハストピア）	東部地区社会教育関係委員・職員研修会（※）
1月28日（金） 市役所第2会議室	第6回幸手市社会教育委員会議（※）	
事業成果	社会教育に関する現状と課題について、調査研究を行うとともに、問題の解決に向けた今後の方向性を示すことができた。	

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

◎ すこやか子育て講座開催事業

社会教育課

事業目的	核家族化やコミュニティ意識の希薄化による家庭教育力の低下を改善するため、小学校入学前の子どもを持つ保護者を対象に、家庭教育に関する講話や意見交換など、子育てについて学べる機会を設ける。				
謝金	7,000円×9校（市内小学校）=63,000円				
対象	令和4年度新1年生の保護者				
事業内容	学校名	開催日	テーマ	講師名	参加者数
	幸手小	10月5日(火)	どう育てるの？子供のやる気と根気～我が家流 子供のサポート方法～	島田 雪子	38人
	吉田小	10月6日(水)	入学前の家庭生活について	望月 光子	9人
	さくら小	10月7日(木)	入学前の家庭生活について	島田 雪子	59人
	行幸小	10月13日(水)	小学校入学までに「家庭で準備したいこと」	望月 光子	56人
	上高野小	10月14日(木)	入学までに身につけて欲しいこと～子供たちが元気に楽しく学校生活を送るために～	島田 雪子	54人
	八代小	10月14日(木)	入学前の家庭生活について	望月 光子	10人
	権現堂川小	2月1日(火)	子供の自主性を育てる親の関わり方	島田 雪子	6人
	長倉小	2月2日(水)	幼児の発達～ことばの側面から～	田尻恵美子	50人
	さかえ小	2月3日(木)	親の役割～子供の自立に向けて～	島田 雪子	6人
	合計				
事業成果	小学校入学前の子どもの状態や保護者の心構えなどを学ぶことにより、子育てに必要な知識等を習得することができた。				

◎ 子ども大学さって開催事業

社会教育課

事業目的	地域にある大学や団体と連携し、子どもの知的好奇心や探究心を育み、郷土への親しみ、関心を高めるため、「子ども大学さって」を開催する。				
対象	小学3年生～6年生				
事業内容		期日・会場	内 容	講 師 名	参加者数
	第1回	1月22日(土) 郷土資料館 講座室	「幸手の海と作物の歴史」 「ことさんと白いさぎ」 「機織り」 「貝のストラップづくり」	幸手市郷土資料館 館長・学芸員・ボ ランティアの方	—
	第2回	1月29日(土) 郷土資料館 講座室	「張り子づくりPart1」 型を使って張り子づくり	幸手市郷土資料館 館長・学芸員	—
	第3回	2月5日(土) 郷土資料館 講座室	「張り子づくりPart2」 張り子の色付け つるし飾りづくり	幸手市郷土資料館 館長・学芸員	—
事業成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。				

◎ 放課後子ども教室開催事業

社会教育課

事業目的	放課後の時間に小学生を対象にして、地域の協力により、スポーツ・文化などさまざまな体験の場を設け、知識・体力の向上を図りながら交流を深める。			
対象	小学生児童（吉田小学校）			
事業内容	学 校 名	内 容	実 施 期 間	参 加 者 数
	吉田小学校	卓球教室	11月～12月（全6回）	延べ 91人
	吉田小学校	和太鼓教室	11月～12月（全2回）	延べ 17人
事業成果	吉田小学校において、地域の協力を得ながら、スポーツや文化活動を体験することができ、知識・体力の向上が図れた。			

◎ 青少年健全育成事業

社会教育課

事業目的	次世代を担う青少年の健全育成を図るために、「青少年育成推進員」と協力し相互の連絡調整や健全育成啓発活動などを行う。	
事業内容	期日・会場	内 容
	5月28日（金） 市役所 第1会議室	【幸手市青少年育成推進員協議会総会】 （1）令和2年度活動状況報告 （2）役員選出 （3）令和3年度年間活動計画について
	5月28日（金） 市役所 第1会議室	【第1回幸手市青少年育成推進員協議会会議】 （1）青少年育成推進員の活動について （2）幸手市青少年育成推進員協議会について （3）幸手市青少年育成支援協議会規約について
	7月19日（月） 市役所 第1会議室	【第2回幸手市青少年育成推進員協議会会議】 （1）学校訪問について （2）マグネットを活用した非行防止パトロールについて
	7月19日（月） 幸手駅 杉戸高野台駅	【非行防止街頭キャンペーン】（※）
	8月25日（水） 市役所	【第3回幸手市青少年育成推進員協議会会議】（※）
	8月25日（水） 市内	【非行防止パトロール】（※）
	12月10日（金） 市役所 第1会議室	【第4回幸手市青少年育成推進員協議会会議】 （1）学校訪問について （2）研修会について （3）非行防止パトロールについて
	12月10日（金） 市内	【非行防止パトロール】 ショッピングモールやコンビニエンスストアを中心に2班に分かれて巡回した。 （参加者11人）
	2月18日（金） 市役所	【第5回幸手市青少年育成推進員協議会会議】（※）
	2月18日（金） 市内	【非行防止パトロール】（※）
	そのほかの活動 ・学校訪問（9月～令和4年1月）小学校9校 中学校3校 高校1校 ・研修会（1月12日）「子供安全見守り講座」	
事業成果	青少年育成推進員による啓発活動や市内パトロールの実施により、青少年健全育成に関する地域環境の向上が図れた。	

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

◎ 成人式開催事業

社会教育課

事業目的	新成人の門出を祝福するとともに、成人としての自覚を促しながら、故郷を再認識し、地域に貢献できる人づくりを図るために、式典を開催する。
主催	幸手市・幸手市教育委員会
運営	幸手市成人式実行委員会 実行委員（新成人）9人 協力員（社会教育関係者）5人
委託料	625,408円
期日・会場	令和4年1月9日（日） 市民文化体育館 さくらホール
対象	平成13年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた人
参加者数	300人（参加率：67.4%）
事業内容	テーマ：「Memories～今までも、これからも～」 内容：式典
事業成果	旧交を温めつつ、新成人として社会に踏み出す自覚を促す機会を提供することができた。また、新成人を中心とした実行委員会を組織し、自らの手で式典を構成することで、責任感を醸成するとともに、故郷の大切さを再認識してもらうことができた。

◎ 人権教育推進協議会関係事業

社会教育課

事業目的	幸手市における同和問題をはじめとする様々な人権教育の振興を図り、明るい地域社会の形成に寄与するために人権教育に関する研修会等を実施する。			
事業内容	行事名	期日・会場	参加者数	備考
	人権教育研修会	5月19日（水） 市役所	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
	人権教育研修会 （人権作文発表会）	12月5日（日） 北公民館	82人	市内小・中学生による人権作文の発表。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無観客で実施。
事業成果	新型コロナウイルス感染対策を徹底して研修会等を開催することにより、人権啓発の向上を図れた。			

◎ 集会所事業

社会教育課

事業目的	子どもたちを中心に、地域に住む様々な人々の相互理解の促進と、交流を深めるための活動を実施する。			
事業内容	行事名	期日・会場	参加者数	備考
	体力づくり 親子運動会	10月15日(金) 上高野小学校	496人	親子運動会への支援
	夏のおはなし会	南公民館	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
	子ども料理教室	南公民館	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
	子どもお楽しみ会	12月19日(日) 南公民館	18人	人権啓発のアニメ映画上映とお楽しみゲーム
	飛び出すカードづくり	3月13日(日)・ 3月26日(土) 南公民館	8人	色紙を使った飛び出すカードづくり
事業成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計画していた5回の事業のうち2回の事業について行うことができなかったが、子どもお楽しみ会や飛び出すカードづくりは、参加人数を制限して行うことができた。			

◎ 無形文化財保存事業（一般補助）

社会教育課

事業目的	郷土芸能の保存及び伝承のために、保存会の育成を図る。
対象	幸手市郷土芸能保存会 ①松石ささら獅子舞保存会 ②高須賀大杉ばやし保存会
事業内容	後継者育成と伝承技術の向上のため地区ごとに練習を実施し、それぞれの地区ごとに祭礼を行う。併せて、郷土芸能大会を実施する。
補助金額	55,000円
事業成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、祭礼及び郷土芸能大会は中止となったが、技術向上のための練習や小学校での指導等を通して、郷土芸能に触れる機会の創出と後継者育成に寄与することができた。

◎ 文化財保護審議会

社会教育課

事業目的	市の区域内に所在する文化財の調査、保存及び活用に関し、教育委員会の諮問に応じ重要事項を審議し、かつ、これらの事項に関し必要と認める事項を建議するために設置する。	
事業内容	期 日 ・ 会 場	内 容
	12 月 11 日 ( 土 ) 郷 土 資 料 館 講 座 室	(1) 幸手市の区域内に所在する文化財の指定に関する審議について (2) その他
	2 月 4 日 ( 金 ) 郷 土 資 料 館 講 座 室	(1) 幸手市の区域内に所在する文化財の指定に関する審議について (2) 新市指定文化財について (協議)
事業成果	市の文化財保護行政の実績と計画について理解し、委員としての認識が高まるとともに、委員からも文化財保護事業に対する提言や文化財活用にかかわる地域の細かな情報提供があり、文化財保護の重要性を共有することができた。併せて、新たに「浜田得一撮影幸手町記録写真集」と「川嶋家文書」の2件を市指定文化財に指定することができた。	

◎ 文化遺産保存公開事業

社会教育課

(1) 郷土資料館開館日数及び入館者数

	令 和 3 年 度	令 和 2 年 度
開館日数	309日	189日
入館者数	4,368人	1,853人

(2) 展示公開事業

事業目的	幸手の歴史を通覧する常設展示だけでなく、特定のテーマに絞った特別展示・企画展示等を実施することで、幸手の歴史と文化の深みや多様性について周知を図る。
事業内容	<p>① 特別展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名称 「オルガンと幸手町の郷土誌 ー高橋浅次郎が遺した資料ー」</li> <li>・内容 明治35年から大正10年まで幸手町立幸手尋常高等小学校の校長を務めた高橋浅次郎が遺した「郷土誌稿」を中心に、当時の幸手町で行われた郷土誌編さんの概要を紹介した。 これに併せて、高橋家に伝えられた古いオルガンをはじめ、浅次郎ゆかりの資料のほか、浅次郎自身もその活動に深く関わった「幸手町教育会」の文化事業の成果の一端について紹介した。</li> <li>・展示期間 10月26日（火）～1月30日（日）</li> </ul> <p>② 企画展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名称 第1回「彰義隊士 横山光造の陣笠」</li> <li>・内容 彰義隊で活躍した柳剛流の剣士 横山光造ゆかりの陣笠や子弟関係を物語る柳剛流の切り紙を解説パネルとともに展示した。さらに、光造の墓石をはじめ、市域に所在する柳剛流祖の碑や光造の名前が見える戸島村の合併碑等の石造物の写真パネルを展示し、幸手ゆかりの人物の事績と時代背景について市民に分かりやすく説明した。</li> <li>・展示期間 5月25日（火）～7月18日（日）</li> <li>・名称 第2回（その1）「幸手の海でとれた貝」</li> <li>・内容 榎野地原遺跡・榎野地北遺跡で発見された貝塚の資料をはじめ、解説パネル、写真パネルを展示し、貝塚とそれにかかわる地域の歴史について説明した。</li> <li>・展示期間 7月22日（祝）～9月5日（日）</li> <li>・名称 第2回（その2）「渋沢栄一と幸手 ー幕末の幸手をゆく青年 栄一と幸手ゆかりの人びととの交流ー」</li> <li>・内容 青年時代の渋沢栄一が、一橋家に仕官後、人選御用のため幸手市域の一橋家領知の村々を廻村した事実について地域に残された江戸時代の古文書で紹介するとともに、当館が所蔵する幸手出身の実業家 熊倉良助関係資料を中心に、栄一との交流を示す近代資料を展示した。</li> <li>・展示期間 7月22日（祝）～9月5日（日）</li> <li>・名称 第3回「幸手の板碑」</li> <li>・内容 郷土資料館が所蔵する21点の実物資料を中心に、解説パネル等を展示し、板碑と地域の歴史について説明した。</li> <li>・展示期間 9月10日（金）～10月16日（土）</li> <li>・名称 第4回「郷土資料館雑まつり ー收藏品展ー」</li> <li>・内容 幸手出身の実業家 熊倉良助ゆかりの御殿飾り雛のほか、市民から寄贈された内裏雛や裃人形など、郷土資料館が収蔵する雛人形を展示し紹介した。</li> <li>・展示期間 2月1日（火）～3月31日（木）</li> </ul> <p>③ エントランス展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名称 第1回「江戸の粋 変化朝顔と幸手」</li> <li>・内容 変化朝顔を長年栽培する市民から提供された「変化朝顔」を野外展示するとともに、エントランスに解説パネルを展示し、その歴史や幸手との関わりについて説明した。</li> <li>・展示期間 8月～9月中旬</li> <li>・名称 第2回「郷土資料館雑まつり ー收藏品展ー」</li> <li>・内容 企画展示に合わせ、段飾りの雛人形のほか、市民と一緒に作った張り子の吊るし雛をエントランスに展示した。</li> <li>・展示期間 2月1日（火）～3月31日（木）</li> </ul>
事業成果	特別展示や企画展示を通して、来館者に幸手の歴史や文化を感じてもらうことができた。

### (3) 教育普及事業

#### ① 古文書学習講座

事業目的	<p>本講座は受講者が、市が収集した市域の古文書をテキストとして学習体験することを通して、まず地域の歴史を学び知ることの楽しさを感じることを第一の目的とする。</p> <p>さらに、ふるさと幸手に対する郷土愛や文化財を大切に思う気持ちを育んだ受講者が、幸手市民であることに誇りを抱き、その結果、幸手の文化的発展あるいは文化財の継承のため、自発的に考え、行動する人づくりを第二の目的とする。</p>			
事業内容	期日・会場	内 容	講 師	参加者数
	7月17日(土)～ 3月19日(土)全9回 郷土資料館 講座 室	①江戸時代の古文書を読む ②江戸時代の古文書(地方文書)を読む	郷土資料館 学芸員	一 般 延べ178人
事業成果	<p>古文書の学習を通して、受講者に幸手地域の歴史を学び知ることの楽しさを感じてもらうことができた。</p>			

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため2回中止。

#### ② 特別展講演会

事業目的	<p>令和3年度の特別展に合わせて、展示に関する内容への理解をさらに深めることを目的とする。</p>			
事業内容	期日・会場	内 容	講 師	参加者数
	11月23日(祝) 郷土資料館講座室	明治末期の郷土誌編さんと幸手	重田 正夫	28人
事業成果	<p>専門的見地の高い講師による講義は明快で好評が得られ、受講者に展示に関する内容への理解をさらに深めてもらうことができた。</p>			

#### ③ 第19回市史講座

事業目的	<p>本講座は、市史編さん事業で得られた成果を活かし、幸手の歴史と文化を解説するものである。</p> <p>さらに、幸手固有の歴史と文化に関心を深めた市民が、今後のまちづくりに文化的視点をもって取り組めるよう、情報提供という観点からその後押しをすることも目的としている。</p> <p>第19回目の市史講座では、「中川低地」というテーマで、幸手市域の大半を占める中川低地の成立や、地震などの災害と低地との関係について造詣の深い講師に講義を依頼し、その内容について市民の理解を深めることを目的とした。</p>			
事業内容	期日・会場	内 容	講 師	参加者数
	11月27日(土) 郷土資料館 講座 室	中川低地の生い立ち 一縄文海進の残した地層と地震 災害の種類一	平社 定夫	28人
事業成果	<p>専門的見地の高い講師による講義は明快で好評が得られ、受講者の知的要求に応えることができた。</p>			

#### ④ ものづくり体験学習講座

事業目的	幸手の歴史に関連した地域資源を活かすことを目的とし、郷土資料館でものづくり体験講座事業を実施し、幸手の歴史や文化について周知を図る。			
事業内容	期 日 ・ 会 場	内 容	講 師	参加者数
	7月31日(土) 郷土資料館講座	機織り体験 (夏休みわくわく体験)	機織りボランティア	16人
	8月8日(日) 郷土資料館講座	貝のストラップづくり (夏休みわくわく体験)	郷土資料館学芸員	42人
	8月9日(祝) 郷土資料館講座	藍のたたきぞめ (夏休みわくわく体験)	郷土資料館学芸員	30人
	8月21日(土) 郷土資料館エントランスホール	綿のたねとり体験 (夏休みわくわく体験)	郷土資料館学芸員	6人
	8月22日(日) 郷土資料館講座	貝のクリップづくり (夏休みわくわく体験)	郷土資料館学芸員	44人
	12月19日(日) 郷土資料館講座	藁で作るお正月飾り	坂 斉 武 男	10人
	1月30日(日) 郷土資料館講座	勾玉づくり	郷土資料館学芸員・幸手市青少年相談員	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
	3月26日(土) 郷土資料館講座	機織り体験	機織りボランティア	11人
事業成果	市域でかつて行われていた藍染めや機織り、また、米どころ幸手ならではの藁の文化についての理解を深めることができた。特に、夏休みわくわく体験では、初めて郷土資料館に来たという市民も多く、郷土資料館を周知することができた。			

### ⑤ 幸手市文化遺産だよりの発行

事業目的	市民に資料保存公開事業の状況や新発見の文化財について周知し、地域の文化遺産について理解を広める。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名称 『幸手市文化遺産だよりの発行』第19号</li> <li>・ 内容 「幸手歴史物語 幕末編 彰義隊士 横山光造と渋沢栄一」をテーマとし、令和3年度に開催した「彰義隊士 横山光造の陣笠」「渋沢栄一と幸手」の二つの企画展の概要を紹介した。</li> <li>・ 発行日 令和4年3月1日(火)</li> <li>・ 発行部数 21,000部(広報紙折込で全戸配布ほか)</li> <li>・ 印刷費用 187,110円</li> </ul>
事業成果	幸手ゆかりの人物について市民に周知することができた。

### (4) 資料調査・整理事業

#### 郷土資料館収蔵資料調査事業

事業目的	郷土資料館収蔵資料の保存と活用を図るため、未整理の古文書等の整理と調査を行うとともに、古文書等整理市民ボランティアの養成を目的とし実施する。
事業内容	史料の取扱い等に精通し、歴史学について専門的知識を有する史料専門員と、古文書等整理市民ボランティアとが、郷土資料館で収蔵している古文書等について調査・整理・資料台帳の作成を行うもの。
実施回数	21回
参加者数	延べ114人
事業成果	郷土資料館が収蔵する古文書約2,000点を整理し、今後活用することができるようになった。さらに、市民ボランティアを養成したほか、この事業を通して、市民に生涯学習の場を提供することができた。

### ◎ 郷土資料館感染拡大防止事業

社会教育課

#### (新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業)

事業目的	郷土資料館の設備環境を整備し、公共空間での感染リスクを削減することで、安心安全な施設利用を図る。		
事業名	施行場所	事業概要	事業費
網戸設置工事	郷土資料館 民具資料展示室	新型コロナウイルス感染症対策として、換気を効率的に行うことで3密を回避するとともに、蜂や鳥の侵入を防ぐため網戸を設置。	221,430円
トイレ改修工事	郷土資料館 歴史展示室	新型コロナウイルス感染症対策として、トイレ使用后、蛇口の水栓に接触せず手を洗えるようにするため、非接触型水栓に交換。	995,500円
事業成果	郷土資料館の設備環境を整備したことで、施設内での感染リスクを削減し、安心安全な施設運営を図れた。		

◎ 第60回文化祭

社会教育課

事業目的	日頃の文化活動の成果を発表する機会を設け、市民の文化交流を図る。
主 催	幸手市・幸手市教育委員会
共 催	幸手市公民館
事業成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

◎ 公民館開館日数及び利用者数

社会教育課

公 民 館 名	開 館 日 数		利 用 者 数	
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
中 央 公 民 館	348日	347日	27,276人	27,160人
勤労青少年ホーム	348日	347日	13,263人	9,985人
西 公 民 館	348日	347日	31,448人	28,283人
北 公 民 館	348日	347日	10,028人	10,255人
南 公 民 館	348日	347日	20,576人	22,742人
東 公 民 館	348日	347日	10,477人	7,669人

◎ 公民館講座・共催事業

社会教育課

事業目的	生涯学習活動の拠点として、公民館の利用を促進し、活動の活性化を図るために、講座の開催やクラブ活動の成果を発表するための事業を実施する。			
事業名及び場所	開催期間等	対象者及び参加者数	事業内容	事業成果
日本語教室 (幸手市国際交流協会との共催) 中央公民館	4月3日(土) ～ 3月26日(土) 毎週火・土曜 (全64回)	一 般 延べ1,259人	外国の方の日本での生活を容易にするため、日本の文化、生活習慣を知り、生活に慣れてもらうことと参加者の交流を図る。	毎回、たくさんの外国の方が参加され、真剣に日本語や文化を学ぶことができた。
春の野草研究会 (幸手自然愛護会との共催) 東公民館及び 中川周辺	4月23日(金)	一 般	中川周辺の野草を観察し種類や生態について調べ、季節による植生の違いを観察し、自然に対する知識や理解を深める。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

◎ 公民館講座・共催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開催期間等	対象者及び参加者数	事業内容	事業成果
ヨガ講座 西公民館	6月22日(火) ～ 7月20日(火) 全5回	一般 延べ45人	ヨガの基本である太陽礼拝ポーズから始め、関節の柔軟性が高まり、また、深い呼吸をすることでストレスを解消し健康増進を図ることを目的とする。	ストレスの解消及び健康増進が図れた。
かな文字書道講座 西公民館	7月15日(木) ～ 8月19日(木) 全5回	一般 延べ40人	かな文字の基本から創作までを学び、好きな詩を書く。	受講生が書いた文字を一人ひとり添削する手法により、自分の良い部分悪い部分を認識することができ、満足できるとの声が寄せられた。
ふれあいサロン (埼玉県との共催) 西公民館	7月28日(水) 11月24日(水) 全2回	乳幼児から小学生と保護者等 延べ23人	絵本の読み聞かせや親子遊び、ママトークなどを通して、忙しくしているママたちがゆっくりくつろげる場を提供する。	ママトークは、子育てに対する不安解消や各種情報交換の場となった。楽しく有意義なときを過ごすことができた。
第7回 幸手本因坊・子ども本因坊囲碁大会 (幸手市囲碁連盟との共催) 北公民館	8月1日(日)	小・中学生	①本因坊戦 ②段位戦 ③級位戦(1～5級) ④級位戦(6級以下) ⑤子ども本因坊戦(19路盤) ⑥子ども級位戦(13路盤)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
スマホタブレットでできるZOOM体験講座 北公民館	8月1日(日)	一般	スマートフォン等を使用してZOOMを通じたオンラインの手法を習得する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
よくわかる楽しい算数講座 北公民館	8月5日(木) ～ 8月26日(木) 全4回	小学校5・6年生とその保護者	考える習慣を身に着け、生涯にわたって算数に親しむ心を育む。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
親子ボウリング教室 中央公民館	8月17日(火)	小学生以下の子どもとその保護者 5組10人	プロの指導によりボウリングの楽しさを知るとともに、親子のコミュニケーションを図る。	コロナ禍での開催であったが、親子でふれあい、楽しい時間を過ごした。

◎ 公民館講座・共催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開催期間等	対象者及び参加者数	事業内容	事業成果
ピラティス講座 東公民館	8月27日(金) ～ 10月1日(金) 全6回	一般 一延べ	柔軟体操を主としたエクササイズにより、骨格を中心とした身体の深層部を刺激し、姿勢改善や身体のバランス能力の向上を図る。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
伝筆(つてふで)講座 中央公民館	9月10日(金) ～ 12月10日(金) 全7回	一般人 一延べ47人	筆文字を楽しみながら、世界にひとつだけのカレンダーを作る。	受講者同士の会話を楽しみながら、それぞれの感性で個性豊かな作品が作れた。
バレエストレッチ講座 中央公民館	9月14日(火) ～ 11月2日(火) 全5回	一般 一延べ	ストレッチを通して身体の深い部分の筋肉を身につけ、正しい立ち方や体の使い方を学ぶ。	申し込み少数のため中止。
初心者ピアノ講座 中央公民館	9月27日(月) ～ 11月22日(月) 全7回	一般人 一延べ45人	ピアノ演奏の基本を学ぶと共に仲間づくりを支援する。	目標の「エリーゼのために」を習得し、最終日には発表会が開かれ、楽しい時間を過ごした。
初心者向け和紙絵講座 西公民館	10月7日(木) ～ 11月4日(木) 全5回	一般人 一延べ28人	日頃何気なく目にしている風景を和紙張り合わせ絵にする楽しさを学ぶ。	先生の見本を参考に、皆さんで会話を交えながら毎回楽しい雰囲気を受講されていた。
バドミントン教室 南公民館	10月20日(水) ～ 11月24日(水) 全5回	一般人 一延べ53人	バドミントンの基本を学び、楽しさを体験して健康増進の一助となるスポーツの日常化と仲間づくりを行う。	コロナ禍により参加者は少なかったが、その分指導が行き届き、わかりやすく楽しい教室になった。
郷土芸能大会(郷土芸能保存会との共催) 西公民館	10月24日(日)	小学生 一般 一延べ	伝統ある郷土芸能(高須賀大杉ばやし・松石ささら獅子舞)のすばらしさを、大勢の方に知っていただく。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
華道講座 東公民館	10月25日(月) ～ 12月13日(月) 全6回	一般人 一延べ51人	生け花を通して、美の感覚を研ぎ澄まし、参加者同士のコミュニケーションを深める。	受講者同士が会話を楽しみながら、生け花を学ぶことができた。

◎ 公民館講座・共催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開催期間等	対象者及び参加者数	事業内容	事業成果
リンパ整体体操教室 南公民館	11月2日(火)～ 11月30日(火) 全5回	一般 59人 一延 べ	軽い体操で筋肉をほぐし、リンパの循環を促し凝り固まった老廃物を排出することにより、ゆったりとした心地よさを体感する。	5回の講座終了後、活動を続けたいと参加者からの要望が強く、クラブ化し、継続して活動している。
アートフラワー体験講座 東公民館	11月12日(金)～ 12月17日(金) 全6回	一般 43人 一延 べ	染花や造花を使って小物づくりを体験し、その経験を生かして家庭でもアートフラワーを楽しめることを目的とする。	受講者同士が会話を楽しみながら、それぞれの感性で個性豊かなすばらしい作品を作ることができた。
一字書を楽しむ講座 北公民館	11月25日(木)～ 12月23日(木) 全5回	一般 32人 一延 べ	想いを一字に込めて表現する「一字書」を楽しむ。	それぞれの感性で楽しみ、どれも個性的で味わいのある作品ができ上がった。
50代からのフラダンス入門講座 西公民館	11月26日(金)～ 12月24日(金) 全5回	一般 53人 一延 べ	50代からの身体能力に合わせたレッスンをすることで、身体の若返りと同時にストレスを解消し健康増進を図る。	ストレスの解消及び健康増進が図れた。また、8人を構成員とするフラダンスのクラブ化ができた。
マットピラティス講座 南公民館	11月27日(土)～ 12月25日(土) 全5回	一般 66人 一延 べ	身体の深い部分の筋肉を鍛え身体を動かす。	体のバランスが良くなり、調和のとれた体づくりができた。
七草がゆを作って食べる会(幸手自然愛護会との共催) 中央公民館	1月7日(金)	一般	春の七草にまつわる風習や伝統を学び七草がゆの試食を体験することにより、人と自然とのかかわりを実感する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
さいかつぼーる教室 南公民館	1月15日(土)～ 2月12日(土) 全5回	一般	地元埼玉葛地区で考案されたレクリエーションスポーツを通じて健康増進の一助とする。	申し込み少数のため中止。
初心者ピアノ講座(第2弾) 中央公民館	1月17日(月)～ 3月14日(月) 全7回	一般 53人 一延 べ	ピアノ演奏の基本を学ぶと共に仲間づくりを支援する。	目標の「エリーゼのために」を習得し、最終日には発表会が開かれ、楽しい時間を過ごした。

◎ 公民館講座・共催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開催期間等	対象者及び参加者数	事業内容	事業成果
切り絵アート講座 東公民館	1月19日(水)～ 2月16日(水) 全5回	一般 51人 一延べ	植物や人物、アニメなどの絵や写真をもとに一枚の紙を切り抜いて、絵の作品をつくり、部屋などのインテリアとして飾って楽しむことができるようにする。	受講者同士が会話を楽しみながら、それぞれの感性で個性豊かなすばらしい作品を作ることができた。
脳と体の健康教室 西公民館	1月26日(水)～ 2月23日(水) 全5回	一般	脳の活性化を目指して開発された教材による学習や簡単な健康体操を行い、学習を生活習慣としていくことで、脳と体の健康を維持することを目的とする。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
東公民館いきいき大学 東公民館	2月1日(火)～ 3月1日(火) 全5回	一般 19人 一延べ	シニア層から高齢者を対象に日常生活に役立つテーマで、防犯対策や体操、マイナンバー制度などを幅広く学ぶ。	防犯対策やマイナンバー制度などの講話を聞いたり、体操を実施するなど、充実した内容で開催することができた。
茶道講座 東公民館	2月8日(火)～ 3月8日(火) 全5回	一般 38人 一延べ	気軽に茶の湯を楽しみながら、おもてなしの心や茶の湯の作法などを学ぶ。	講師と受講者がコミュニケーションを図りながら、茶の湯の作法などを無理なく学ぶことができた。
スマホタブレットでできるZOOM体験講座 北公民館	2月20日(日)	一般 10人	スマートフォン等を使用してZOOMを通じたオンラインの手法を習得する。	アカウントの作成から始まり、講師のサポートを受けながら、学ぶことができた。
伝筆(つてふで)講座(第2弾) 中央公民館	2月25日(金)～ 3月18日(金) 全4回	一般 32人 一延べ	伝筆文字を楽しみながら書く。	伝筆文字でいろいろな言葉を書き、楽しく有意義な時間を過ごした。
第41回公民館祭(発表の部) 北公民館	3月6日(日)	一般	太極拳・舞踊・大正琴等の団体が公民館におけるクラブ活動の成果の発表を実施する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

◎ 公民館講座・共催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開催期間等	対象者及び参加者数	事業内容	事業成果
うどん打ち体験講座 東公民館	3月9日(水)	一般 8人	うどん打ちを体験し、その経験を活かし家庭での実践を目指すと共に、参加者同士のコミュニケーションを深める。	コミュニケーションを図りながら、楽しくうどん打ちを学ぶことができた。
第41回公民館祭(展示の部) 北公民館	3月11日(金)～ 3月13日(日)	一般 延べ 210人	東日本大震災展及び絵画展を開催する。	出展者や来場者から好評であり、有意義な時間を過ごすことができた。
第41回公民館祭(大人囲碁大会) 北公民館	3月20日(日)	一般	囲碁の大会を開催する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

◎ 公民館感染拡大防止事業

社会教育課

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業)

事業目的	各公民館施設の設備環境を整備し、公共空間での感染リスクを削減することで、安心安全な施設利用を図る。			
事業名	施行場所	事業概要	事業費	
空調機器更新工事	西北公民館 南公民館 東公民館	新型コロナウイルス感染症対策として、換気を効率的に行うことで3密を回避し、感染リスクを避けるため空調機器を更新。	4,393,400円	
網戸設置工事	中央公民館 西南公民館 東公民館	新型コロナウイルス感染症対策として、換気を効率的に行うことで3密を回避するとともに、蜂や鳥の侵入を防ぐため網戸を設置。	1,442,430円	
防虫ネット設置工事	中央公民館 西北公民館 南公民館	新型コロナウイルス感染症対策として、換気を効率的に行うことで3密を回避し、感染リスクを避けるため防虫ネットを設置。	1,377,816円	
大型扇風機設置事業	北南公民館	新型コロナウイルス感染症対策として、換気を効率的に行うことで3密を回避し、感染リスクを避けるため大型扇風機を設置。	43,824円	
事業成果	公民館の設備環境を整備したことで、施設内での感染リスクを削減し、安心安全な施設運営を図れた。			

◎ 南公民館浄化槽蓋修繕事業

社会教育課

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業)

事業目的	公民館の設備環境を整備し、公共空間での感染リスクを削減することで、安心安全な施設利用を図る。		
事業名	施行場所	事業概要	事業費
浄化槽蓋修繕工事	南公民館	新型コロナワクチンの接種会場として利用され多くの市民が来場し、車の往来が激しく劣化のために取替修繕を実施。	264,000円
事業成果	公民館の設備環境を整備したことで、施設内での事故を防ぎ、安心安全な施設運営が図れた。		

◎ 図書館開館日数等

社会教育課

	令和3年度		令和2年度			
	開館日数	本館	305日	本館	253日	
	香日向分館	309日	香日向分館	251日		
貸出人数	本館	48,314人	本館	32,605人		
	香日向分館	17,312人	香日向分館	11,295人		
貸出冊数	本館	175,689冊	本館	114,186冊		
	香日向分館	43,878冊	香日向分館	29,513冊		
図書購入費	図書	数量	7,331冊	図書	数量	7,845冊
		金額	15,411,463円		金額	15,459,578円
	A V資料	数量	202点	A V資料	数量	271点
		金額	1,601,359円		金額	1,607,097円

◎ 蔵書内容

社会教育課

	令和2年度末蔵書数	令和3年度			令和3年度末蔵書数
		購入	寄贈等	払出	
一般書	120,003冊	5,213冊	135冊	3,443冊	121,908冊
児童書	60,837冊	2,104冊	31冊	1,235冊	61,737冊
郷土資料	5,694冊	1冊	133冊	0冊	5,828冊
紙芝居	2,360冊	13冊	0冊	8冊	2,365冊
合計	188,894冊	7,331冊	299冊	4,686冊	191,838冊

◎ 図書館協議会

社会教育課

事業目的	図書館の運営や図書館サービスに対する意見・提案をいただき、業務の運営に役立てる。		
事業内容	期日・会場	内 容	
	9月27日（月） 書面開催	(1) 令和3年度図書館要覧について (2) 子ども読書活動推進計画（案）について	
	12月6日（月） 図書館視聴覚室	(1) 子ども読書活動推進計画（案）について (2) その他	
事業成果	幸手市子ども読書活動推進計画を策定したほか、図書館の円滑な運営及び利用者へのサービス向上を図れた。		

◎ 図書館感染拡大防止事業

社会教育課

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業)

事業目的	図書館内の設備環境を整備し、公共空間での感染リスクを削減することで、安心安全な施設利用を図る。		
事業名	施行場所	事業概要	事業費
網戸設置工事	図書館本館 香日向分館	新型コロナウイルス感染症対策として、換気を効率的に行うことで3密を回避し、感染リスクを避けるため網戸を設置。	1,238,490円
トイレ改修工事	図書館本館	新型コロナウイルス感染症対策として、施設内での感染リスクを軽減するため、トイレ改修及び手洗器の自動水洗化工事を実施。	588,060円
事業成果	図書館内の設備環境を整備したことで、施設内での感染リスクを削減し、安心安全な施設運営を図れた。		

◎ 第30回幸手市さくらマラソン大会開催事業

社会教育課

事業目的	生涯スポーツの推進をめざすため、健康ふれあいスポーツ都市 幸手市にふさわしく、誰もがスポーツを通して豊かな生活を営むこととあわせて心身の健全な育成に寄与することを目的とする。また、さくらのまち幸手市のイメージアップを図る。		
事業内容	期日・会場	部 門	参加申込者数
	—	10マイルコース 3 kmコース 2 kmコース	— — —
事業成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期。		

◎ ふるさとづくり第65回市民体育大会

社会教育課

事業目的	広く市民にスポーツ・レクリエーションを普及し、市民の健康増進と体力の向上を図るとともに、地域の連帯感を高め、明るく豊かな市民生活の形成と文化の発展を図る。			
主催	幸手市・幸手市教育委員会・幸手市体育協会・幸手市レクリエーション協会			
主管	幸手市体育協会加盟団体・幸手市レクリエーション協会加盟団体			
方法	委託事業	委託料	753,170円	
事業内容	第1部（地区大会） 体育協会各支部等が主管団体となり、健康づくりと地域コミュニティの推進を図るため、地区をあげてスポーツ・レクリエーションの祭典として実施する。			
	地区名	期 日	会 場	参加者数
	行幸地区	中止	行幸小学校	—
	八代地区	中止	八代小学校	—
	さくら小地区	中止	さくら小学校	—
	北地区	中止	幸手中学校	—
	上高野地区	中止	上高野小学校	—
	長倉地区	中止	長倉小学校	—
	権現堂川地区	中止	権現堂川小学校	—
	栄地区	中止	さかえ小学校	—
	吉田地区	中止	吉田小学校	—
	香日向地区	中止	旧香日向小学校	—
	中地区	中止	幸手小学校	—
	第 1 部	合 計		—

◎ ふるさとづくり第65回市民体育大会のつづき

社会教育課

事業内容	第2部（種目別大会） 体育協会及びレクリエーション協会加盟団体が主管団体となり、広く市民から参加者を集い、スポーツ・レクリエーションの普及を図る。			
	種目	期日	会場	参加者数
	テニス	9月12日（日） ～全5日	総合公園庭球場	266人
	柔道	中止	—	—
	野球	8月29日（日） ～全6日	ひばりヶ丘球場	270人
	空手道	中止	—	—
	ゴルフ	中止	—	—
	卓球	10月3日（日）	市民文化体育館	21人
	バレーボール	12月5日（日） ～全2日	海洋センターほか	138人
	ゲートボール	10月11日（月）	老人福祉センター	24人
	インディアカ	11月21日（日）	市民文化体育館	152人
	剣道	10月31日（日）	武道館	50人
	ソフトボール	10月17日（日） ～全2日	神扇グラウンド	360人
	弓道	10月30日（土）	武道館	29人
	グラウンド・ゴルフ	10月24日（日）	総合公園陸上グラウンド	160人
	ターゲット・バードゴルフ	10月9日（土）	総合公園さくらふれあい広場	28人
	ソフトバレーボール	中止	—	—
	サッカー	中止	—	—
	ミニテニス	12月5日（日）	市民文化体育館	38人
	スキー	2月27日（日）	菅平高原スキー場	8人
第2部合計			1,544人	
事業成果	<p>第1部（地区大会）については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</p> <p>第2部（種目別大会）の開催により、市民の健康増進と市民との協働によるスポーツ・レクリエーション活動の推進が図れた。</p>			

◎ 委託教室開催事業

社会教育課

事業目的	市民のスポーツ・レクリエーション等への参加を促進するため、スポーツ教室を実施し、市民の健康と体力の向上、交流の場及び各種スポーツの推進を図る。				
事業内容	教室名	委託先	対象	期日・会場	参加者数(延べ)
	ターゲット・バードゴルフ教室	幸手ターゲット・バードゴルフクラブ	一般男女	7月10日(土)～ 7月18日(日) 全5回 総合公園 さくらふれあい広場	14人
	空手体験教室	空手道連盟	中学生～一般男女	3月13日(日)～ 3月27日(日) 全3回 武道館	3人
	合 計				17人
事業成果	教室の開催により、市民の健康づくりと、スポーツ・レクリエーション活動の普及、参加者の交流を図れた。				

◎ 社会体育関係団体の概要と補助金（一般補助）

社会教育課

事業目的	市内のスポーツ・レクリエーション団体を支援するため補助金を交付することで、スポーツ・レクリエーション活動の普及と市民の健康づくりを推進する。			
交付実績	団体名・代表者名	主 な 活 動	会 員 数 等	交 付 額
	幸手市体育協会 会長 宮杉 勝男	<ul style="list-style-type: none"> <li>各支部開催の交流事業への補助</li> <li>各加盟団体開催の交流事業及びスポーツ教室への補助</li> <li>「スポーツ幸手」発行</li> </ul>	9支部 18競技団体 3,167人	2,220,000円
	幸手市スポーツ少年団 本部長 斉藤 一夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>種目別各種大会</li> <li>会議の開催</li> <li>各種研修会への参加</li> </ul>	12団 指導者 170人 団 員 312人	500,000円
	幸手市レクリエーション協会 会長 青木 章	<ul style="list-style-type: none"> <li>普及事業の開催</li> <li>各加盟団体開催の交流事業及びスポーツ教室への補助</li> </ul>	6競技団体 252人	100,000円
	幸手市スポーツ推進委員連絡協議会 会長 熊倉 仁一	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種研修会への参加</li> <li>各種スポーツ事業の協力</li> <li>会議の開催</li> </ul>	21人	74,000円
事業成果	活動団体に補助金を交付することにより、事業運営の充実が図られ、スポーツ・レクリエーション活動の普及や、健康づくりを図れた。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業を中止したことにより、補助金を一部返還した。			

◎ ふれあいスポーツ教室開催事業

社会教育課

事業目的	高齢者がスポーツを通して健康づくりを進めるとともに、新たなスポーツ体験を通じて、生きがいづくりや交流の支援を図る。		
対象	市内在住・在勤の60歳以上の方		
参加者数	－		
事業内容	期 日	事 業 内 容	開 催 場 所
	－	ラ ジ オ 体 操 講 習 会	市民文化体育館 さくらホール
事業成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。		

◎ カヌー体験事業

社会教育課

事業目的	カヌーを通して、技術向上と仲間づくりを進めるとともに、水の楽しさを知り、心身の健全育成及び体力づくりを推進する。また、水に親しみながら、水辺の事故を防ぐための知識と技術を身につける。		
対象	市内在住・在学（小学1年生以上）		
参加者数	－		
事業内容	期 日	事 業 内 容	開 催 場 所
	－	開講式・水辺の安全教室・クリーン活動・カヌー実践	幸手中学校 プー ル
事業成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。		

◎ 学校体育施設開放事業

社会教育課

事業目的	地域住民に身近な学校体育施設を、学校教育に支障のない範囲において開放し、スポーツ・レクリエーション活動の場を提供する。				
事業内容	学 校 名	施 設 名	開放日数	利用者数	主 な 利 用 種 目
	幸 手 小	校 庭	34日	768人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少年野球</li> <li>・少年サッカー</li> <li>・吹矢</li> <li>・インディアカ</li> <li>・ミニテニス</li> </ul>
		体 育 館	68日	954人	
		夜間体育館	63日	728人	
	長 倉 小	校 庭	70日	2,115人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトボール</li> <li>・ミニテニス</li> <li>・少年野球</li> <li>・バドミントン</li> <li>・インディアカ</li> </ul>
		体 育 館	66日	828人	
		夜間体育館	59日	784人	
	上 高 野 小	校 庭	93日	5,686人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少年野球</li> <li>・少年サッカー</li> <li>・グラウンドゴルフ</li> <li>・ソフトボール</li> <li>・卓球</li> <li>・インディアカ</li> <li>・バスケットボール</li> </ul>
		体 育 館	85日	2,136人	
		夜間体育館	90日	1,499人	
		夜間校庭	114日	4,162人	
	行 幸 小	校 庭	64日	1,440人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトボール</li> <li>・少年野球</li> <li>・グラウンドゴルフ</li> <li>・インディアカ</li> </ul>
		体 育 館	67日	1,964人	
		夜間体育館	137日	1,536人	
	八 代 小	校 庭	35日	1,540人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少年野球</li> <li>・ミニテニス</li> <li>・卓球</li> </ul>
		体 育 館	7日	212人	
		夜間体育館	159日	1,466人	
	吉 田 小	校 庭	70日	1,134人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトボール</li> <li>・少年野球</li> <li>・ソフトバレーボール</li> <li>・バドミントン</li> </ul>
		体 育 館	6日	74人	
		夜間体育館	67日	388人	
	さ か え 小	校 庭	0日	0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少年サッカー</li> <li>・ミニテニス</li> <li>・インディアカ</li> </ul>
		体 育 館	60日	1,054人	
		夜間体育館	31日	218人	

◎ 学校体育施設開放事業のつづき

社会教育課

	学 校 名	施 設 名	開 放 日 数	利 用 者 数	主 な 利 用 種 目
事業内容	さくら小	校 庭	78日	2,672人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少年サッカー</li> <li>・少年野球</li> <li>・ミニテニス</li> <li>・ミニバスケットボール</li> </ul>
		体 育 館	69日	2,635人	
		夜間体育館	173日	1,932人	
	権現堂川小	校 庭	12日	498人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上</li> <li>・バドミントン</li> </ul>
		体 育 館	53日	636人	
		夜間体育館	0日	0人	
	合 計	校 庭	456日	15,853人	利用者数 合計 39,059人
		体 育 館	481日	10,493人	
		夜間体育館	779日	8,551人	
		夜間校庭	114日	4,162人	
事業成果	地域の身近なスポーツ施設として、地域住民を中心に利用され、スポーツの普及と地域の交流を図れた。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用の一部規制を行った。				

◎ 体育施設の概要と利用者数

社会教育課

施設名	施設概要	規模	利用者数
武道館	市の武道の拠点施設として、昭和59年に柔道場と剣道場を開設。 平成3年には、弓道場を開設。	敷地面積 1,920㎡ ○柔道場・剣道場 鉄骨造 延べ床面積 1,323㎡ 1F柔道場 420㎡ 2F剣道場 406㎡ ○弓道場 鉄骨造 延べ床面積 272㎡ 近的(6人立) 28m	26,166人
B & G 海洋センター	B & G財団の補助を受け、昭和57年に開設。 昭和60年に譲渡を受ける。	敷地面積 9,003㎡ ○体育館 鉄筋コンクリート造 延べ床面積 1,102㎡	12,670人
ひばりヶ丘球場	ナイター照明を備えた本格的な野球場として、平成4年に開設。	○グラウンド 両翼 92m センター 120m ○メインスタンド	27,279人
幸手総合公園	雇用・能力開発機構の補助を受け、勤労者福祉施設として、昭和62年に開設。 平成11年度にグラウンドを改修。	○陸上グラウンド 敷地面積 24,000㎡	33,171人
		○庭球場 敷地面積 4,500㎡ 人工芝(全天候型) 6面	23,529人
神扇グラウンド	一般廃棄物最終処分場跡地の有効利用を図るため、平成13年に開設。	敷地面積 19,370㎡ 野球等グラウンド 2面 (バックネット 2面)	15,640人
少年サッカー場	旧権現堂川小学校跡地を再利用し、昭和62年に開設。	敷地面積 8,112㎡ 少年用サッカー場 1面	3,400人
大島新田多目的グラウンド	県有地である大島新田を借用し、杉戸町と共同して多目的グラウンドとして整備した施設。平成12年に開設。	敷地面積 10,800㎡	711人
市民文化体育館(アスカル幸手)	大規模なスポーツ・文化イベントが開催できる複合施設。平成7年に開設。	鉄筋コンクリート造 敷地面積 26,865㎡ 延べ床面積 10,521㎡ メインアリーナ 2,050㎡ さくらホール 1,070㎡	130,829人

◎ 体育施設感染拡大防止事業

社会教育課

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業)

事業目的	体育施設の設備環境を整備し、公共空間での感染リスクを削減することで、安心安全な施設利用を図る。		
事業名	施行場所	事業概要	事業費
空調機器更新工事	市民文化体育館	新型コロナウイルス感染症対策として、換気を効率的に行うことで3密を回避し、感染リスクを避けるため、空調機器を更新。	2,838,000円
メッシュカーテン設置工事	市民文化体育館	新型コロナウイルス感染症対策として、換気を効率的に行うことで3密を回避し、感染リスクを避けるため、メッシュカーテンを設置。	424,699円
防虫ネット設置工事	B & G 海洋センター 武道館	新型コロナウイルス感染症対策として、換気を効率的に行うことで3密を回避し、感染リスクを避けるため、防虫ネットを設置。	263,648円
事業成果	体育施設の設備環境を整備したことで、施設内での感染リスクを削減し、安心安全な施設運営を図れた。		

◎ オリンピック・パラリンピック関連事業

社会教育課

事業目的	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、各種イベント等を実施することにより、大会への機運醸成を図る。	
事業内容	期日・場所	内 容
	7月1日（木） ～ 8月31日（火）  幸 手 駅 ステーション ギャラリー	【展示内容】 ・東京2020パラリンピック競技大会聖火リレー応援看板 ・東京2020パラリンピック聖火フェスティバル紹介 ・東京2020オリンピック競技大会に出場したベナン共和国の選手紹介 ・東京2020パラリンピック競技大会に出場したベナン共和国の選手紹介 ・ベナン共和国の紹介
	7月6日（火）  幸手駅西口前	「東京2020オリンピック・パラリンピック大会聖火リレー記念さくら植樹」セレモニー
	8月19日（木）  朝霞中央公園 陸上競技場	東京2020パラリンピック聖火フェスティバル「埼玉県のパラリンピック聖火集火式」参加
8月19日（木）  アスカル幸手 ロビー	東京2020パラリンピック聖火ビジット ・東京2020パラリンピック聖火の展示 ・幸手市内学校児童生徒作成応援看板の展示	
事業成果	公道における東京2020パラリンピック聖火リレーは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが、各種イベントや展示により、大会への機運醸成を図れた。	

## 《財産運用の推移について》

### ◎ 基金（積立基金）

#### (1) 財政調整基金

財政課

基金の目的	地方財政法第4条の3第1項及び第7条第1項の規定に基づき、年度間における財源の調整を行い、市財政の健全な運営に資することを目的とした基金である。	
運用状況	令和2年度末現在高	628,630,556円
	令和3年4月1日（取崩）	250,000,000円
	令和3年12月17日（積立）	450,000,000円
	令和4年3月29日（利子積立）	6,450円
	令和4年3月29日（積立）	150,000,000円
	令和4年3月29日（積立）	60,000,000円
	令和3年度末現在高	1,038,637,006円

#### (2) 公共施設整備基金

財政課

基金の目的	公共施設の整備にあたり、その整備費用に資することを目的とした基金である。	
運用状況	令和2年度末現在高	53,507,636円
	令和4年3月29日（利子積立）	1,193円
	令和3年度末現在高	53,508,829円

#### (3) 減債基金

財政課

基金の目的	市債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる市財政の健全な運営に資することを目的とした基金である。	
運用状況	令和2年度末現在高	79,402,431円
	令和4年3月29日（利子積立）	1,843円
	令和4年3月29日（積立）	237,444,000円
	令和3年度末現在高	316,848,274円

#### (4) 地域福祉基金

社会福祉課

基金の目的	在宅福祉・ボランティア活動の推進等、地域における保健福祉活動の振興を図ることを目的とした基金である。	
運用状況	令和2年度末現在高	30,101,252円
	令和3年12月17日（積立）	20,766,000円
	令和4年3月29日（利子積立）	125,087円
	令和4年3月29日（取崩）	992,220円
	令和3年度末現在高	50,000,119円
	※令和2年度運用益の残額（867,133円）については、令和3年度において、福祉車両購入事業の助成として、社会福祉協議会に支出した。	
	※ふるさと納税寄附金100,000,000円（令和3年5月31日寄附）の一部を財源として、基金の積み増しをした。	

## (5) 学校教育施設整備基金

総務課

基金の目的	学校教育施設の整備資金に充てることを目的とした基金である。	
運用状況	令和2年度末現在高 令和4年3月29日(利子積立) 令和3年度末現在高	3,582,728円 82円 3,582,810円

## (6) 子育て応援基金

こども支援課

基金の目的	子どもたちが健やかに育つ環境づくりを推進し、子育て支援のより一層の充実を図ることを目的とした基金である。	
運用状況	令和2年度末現在高 令和3年12月17日(積立) 令和4年3月29日(利子積立) 令和3年度末現在高 ※ ふるさと納税寄附金100,000,000円(令和3年5月31日寄附)の一部を財源として、基金の積み増しをした。	21,895,456円 100,000,000円 664円 121,896,120円

## (7) 庁舎建設基金

財政課

基金の目的	幸手市の新庁舎の建設費用に資することを目的とした基金である。	
運用状況	令和2年度末現在高 令和4年3月29日(利子積立) 令和3年度末現在高	53,214,006円 125,635円 53,339,641円

## (8) 森林環境譲与税基金

政策課(財政課)

基金の目的	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第27条に規定する森林環境譲与税について、森林整備及びその促進に要する経費の財源に充てることを目的とした基金である。	
運用状況	令和2年度末現在高 令和4年3月29日(利子積立) 令和4年3月29日(積立) 令和3年度末現在高	6,350,028円 143円 4,235,000円 10,585,171円

## ◎ 基金(定額運用基金)

## (1) 土地開発基金

契約管財課

基金の目的	公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要がある土地を、予め取得することにより、事業の円滑な執行を図ることを目的とした基金である。	
運用状況	令和2年度末現在高 令和4年3月31日(利子積立) 令和3年度末現在高	26,056,290円 150,115円 26,206,405円

## ◎ 債 権

### (1) 入学準備貸付金債権

学校教育課

債 権 の 目 的	高等学校、大学及び専修学校に入学を希望する市民の保護者で、入学準備金の調達が困難な家庭に対して、入学準備金の貸付を行い、等しく教育を受ける機会を与えることを目的とするものである。																																																				
運 用 状 況	<table> <tr> <td>令和2年度末現在高</td> <td></td> <td>13,763,750円</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月</td> <td>(償還 12件)</td> <td>528,750円</td> </tr> <tr> <td>令和3年6月</td> <td>(償還 1件)</td> <td>25,000円</td> </tr> <tr> <td>令和3年7月</td> <td>(償還 2件)</td> <td>20,000円</td> </tr> <tr> <td>令和3年9月</td> <td>(償還 1件)</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>令和3年10月</td> <td>(償還 19件)</td> <td>855,000円</td> </tr> <tr> <td>令和3年11月</td> <td>(償還 8件)</td> <td>390,000円</td> </tr> <tr> <td>令和3年12月</td> <td>(償還 2件)</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>令和4年1月</td> <td>(償還 2件)</td> <td>30,000円</td> </tr> <tr> <td>令和4年2月</td> <td>(償還 12件)</td> <td>530,000円</td> </tr> <tr> <td>令和4年3月10日</td> <td>(貸付 1件)</td> <td>500,000円</td> </tr> <tr> <td>令和4年3月17日</td> <td>(貸付 2件)</td> <td>1,000,000円</td> </tr> <tr> <td>令和4年3月</td> <td>(償還 13件)</td> <td>540,000円</td> </tr> <tr> <td>令和4年4月8日</td> <td>(貸付 2件)</td> <td>1,000,000円</td> </tr> <tr> <td>令和4年4月</td> <td>(償還 2件)</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>令和4年5月</td> <td>(償還 7件)</td> <td>75,000円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度末現在高</td> <td></td> <td>13,130,000円</td> </tr> </table>	令和2年度末現在高		13,763,750円	令和3年4月	(償還 12件)	528,750円	令和3年6月	(償還 1件)	25,000円	令和3年7月	(償還 2件)	20,000円	令和3年9月	(償還 1件)	50,000円	令和3年10月	(償還 19件)	855,000円	令和3年11月	(償還 8件)	390,000円	令和3年12月	(償還 2件)	40,000円	令和4年1月	(償還 2件)	30,000円	令和4年2月	(償還 12件)	530,000円	令和4年3月10日	(貸付 1件)	500,000円	令和4年3月17日	(貸付 2件)	1,000,000円	令和4年3月	(償還 13件)	540,000円	令和4年4月8日	(貸付 2件)	1,000,000円	令和4年4月	(償還 2件)	50,000円	令和4年5月	(償還 7件)	75,000円	令和3年度末現在高		13,130,000円	
令和2年度末現在高		13,763,750円																																																			
令和3年4月	(償還 12件)	528,750円																																																			
令和3年6月	(償還 1件)	25,000円																																																			
令和3年7月	(償還 2件)	20,000円																																																			
令和3年9月	(償還 1件)	50,000円																																																			
令和3年10月	(償還 19件)	855,000円																																																			
令和3年11月	(償還 8件)	390,000円																																																			
令和3年12月	(償還 2件)	40,000円																																																			
令和4年1月	(償還 2件)	30,000円																																																			
令和4年2月	(償還 12件)	530,000円																																																			
令和4年3月10日	(貸付 1件)	500,000円																																																			
令和4年3月17日	(貸付 2件)	1,000,000円																																																			
令和4年3月	(償還 13件)	540,000円																																																			
令和4年4月8日	(貸付 2件)	1,000,000円																																																			
令和4年4月	(償還 2件)	50,000円																																																			
令和4年5月	(償還 7件)	75,000円																																																			
令和3年度末現在高		13,130,000円																																																			

### (2) 住宅新築資金等貸付金債権

人権推進課

債 権 の 目 的	歴史的、社会的理由により生活環境等の安定向上が阻害されている地域の改善を図るため、住宅の新築若しくは不良住宅の改修、又は住宅の用に供する土地を取得しようとする者に対し、必要な資金の貸付を行い、もって公共の福祉に寄与することを目的とする。																						
運 用 状 況	<table> <tr> <td>令和2年度末現在高</td> <td></td> <td>1,696,427円</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月</td> <td>(償還 1件)</td> <td>45,999円</td> </tr> <tr> <td>令和3年6月</td> <td>(償還 1件)</td> <td>45,999円</td> </tr> <tr> <td>令和3年10月</td> <td>(償還 1件)</td> <td>9,200円</td> </tr> <tr> <td>令和3年12月</td> <td>(償還 1件)</td> <td>45,999円</td> </tr> <tr> <td>令和4年2月</td> <td>(償還 1件)</td> <td>18,400円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度末現在高</td> <td></td> <td>1,530,830円</td> </tr> </table>	令和2年度末現在高		1,696,427円	令和3年4月	(償還 1件)	45,999円	令和3年6月	(償還 1件)	45,999円	令和3年10月	(償還 1件)	9,200円	令和3年12月	(償還 1件)	45,999円	令和4年2月	(償還 1件)	18,400円	令和3年度末現在高		1,530,830円	
令和2年度末現在高		1,696,427円																					
令和3年4月	(償還 1件)	45,999円																					
令和3年6月	(償還 1件)	45,999円																					
令和3年10月	(償還 1件)	9,200円																					
令和3年12月	(償還 1件)	45,999円																					
令和4年2月	(償還 1件)	18,400円																					
令和3年度末現在高		1,530,830円																					

### (3) 土地開発公社経営健全化無利子貸付金債権

財政課

債 権 の 目 的	市が土地開発公社に対して用地の先行取得を依頼し、その財源を無利子で貸し付けるものである。	
運 用 状 況	令和3年度末現在高	717,860,000円